

# 市報

# おおいた

3.9.15  
No.1085

編集と発行  
大分市荷揚町2番31号  
大分市秘書広聴室広聴広報課  
(☎34-6111)



## グレーフさん



額に汗を流し、ストレッチ体操、フォークダンス、レクリエーションダンスを楽しむのは「若草会」の皆さん。

コンパルホールの“高齢者さわやか一汗教室”の卒業生が、もっと続けたいと昭和63年9月に結成。現在会員は、62歳から78歳までの男女約50人。週1回、荷揚町体育館で練習している。

「みんなと一緒に体を動かし、汗を流した後は実に気分そう快です」と笑顔で話すのは代表者の重松一夫さん。

皆さんの元気はつらつとした姿が印象的だ。

## 大分市民の誓い

風光り水澄む郷、西洋文化の花開いた  
豊の国大分市は“緑あふれる豊かな人間  
都市”をめざしています。

私たち大分市民は、このまちに限りな  
い愛着と誇りをもち、よりよいまちづく  
りのため、次のことを誓います。

みんなでよりよいまちづくりのため、この誓いを守りましょう。

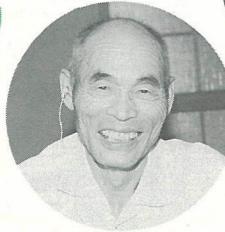
- 1.自然を愛し、緑豊かなまちをつくります。
- 2.働くことに喜びをもち、活気に満ちたまちをつくります。
- 3.みんなで助け合い、心のかよう福祉のまちをつくります。
- 4.ふるさとを愛し、笑顔でふれあう住みよいまちをつくります。
- 5.広く世界に目をひらき、文化のかおるあしたのまちをつくります。



いきいき



# はつらつ輝



**長浜町三丁目  
照岡 慡さん (87歳)**  
自治委員、校区老人クラブ会長、納税貯蓄組合長、保健衛生組合長など地域のお世話に忙がしい毎日を送っています。

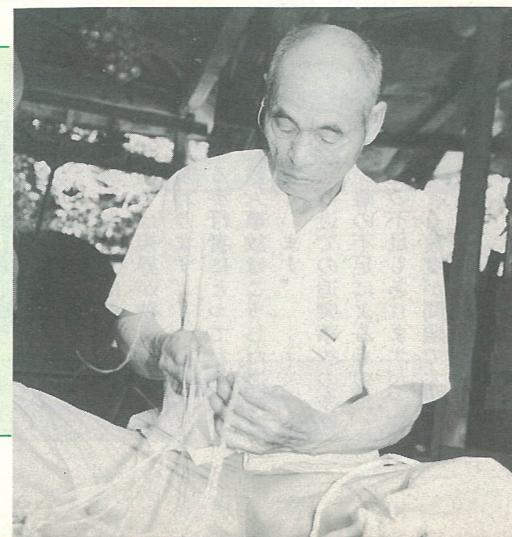
健康法は、食事、運動、睡眠を規則正しく取ること。毎朝、大分川河川敷きを3~4キロ散歩する一方、暇を見つけては近所の草刈りや空き缶拾いに精を出しています。「おかげでごはんがおいしく、夜もよく眠れる」とか。

9月15日、大分市敬老の日大会で「健康生きがい賞」を受賞します。



**月形 安東 満さん (85歳)**  
「おばあちゃん元気やなあ」。いつの間にかあいさつがわりに、こう声を掛けられるようになつたと笑う安東さん。「健康は普段の心掛けから」と、食事や運動に注意して無理のない生活に努め、畠仕事、ゲートボール、詩吟、俳画に精を出す毎日。

俳画は昨年から始めたばかりで、試行錯誤の連続。公民館教室のはかに、自宅でも机に向かって勉強に励んでいます。できが悪ければもう辞めようかと思い、褒められると、もつとがんばろうと意欲が沸いてくるそうです。



**旦野原 後藤 義男さん (78歳)**  
清掃活動に役立ててもらおうと、毎年手作りの竹ぼうきを作つては、近くのお宮に寄付を続けています。

竹ぼうきのほかにも竹かご、ざる、わらじなど、今ではめずらしくなつたこの技を後世に伝えようと、地元の公民館で作り方を教えていました。「昔はどこかの農家でも作つていたのに」と少し照れくさそう。

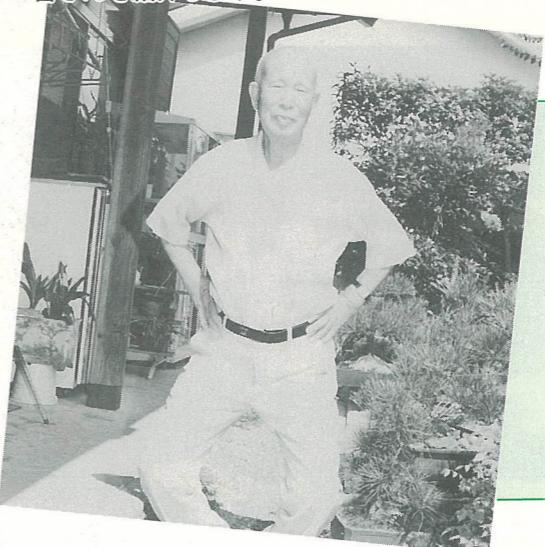
また、清掃活動や花壇作りなど社会奉仕にも積極的に取り組んでいます。

9月15日、大分市敬老の日大会で「健康生きがい賞」を受賞します。

# いてます

9月15日は敬老の日。市内各地域では、長寿を祝い多年にわたる貢献に感謝して、敬老行事が行われています。

今回は、趣味に仕事に、そして社会奉仕にと、人生まつ盛りの皆さんを紹介します。



暇があれば散歩をしたり好きな盆栽をいじったり、無理をせず規則正しい生活に気を付けています。「健康には体操がいちばん。毎朝かかさず行うラジオ体操のおかげで悪い所はありません」と、ますます元気です。

社会福祉協議会生活福祉資金制度の審査委員を34年間務めています。長年、坂ノ市で医師として、また民生児童委員として活躍し、その経験が審査に大いに役立っているそうです。



**角子原 羽田野京平さん (83歳)**

庭には花木がいっぱい。マキやサザンカ、ツツジ、さんご樹など…。高校教諭を退職してから始めた、すべて手作りのものです。

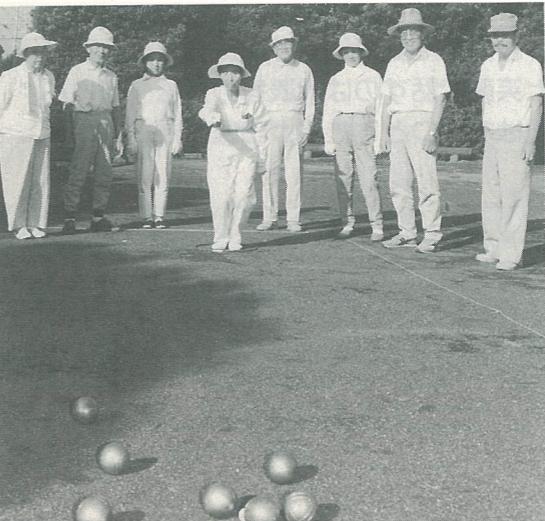
なかでも、アベリアの生け垣は自慢のひとつ。丹精込めて作つたこの生け垣は、コンクールで表彰されたこともあります。

健康のため、一日に一度は外に出で汗を流すように心掛けているといふ羽田野さん、ゲートボールに行かない日は庭に出て花木の手入れに励んでいます。

全国に強豪チームとして知られる三佐ペタンクチーム。その中の最年長選手として、毎朝、ペタンクの練習に励んでいます。

「友だちと顔を会わせて笑顔であいさつするのが何よりの楽しみ」というだけあって、ペタンクのほかにも俳画、陶芸、短歌、俳句、詩道と多くの持ち主。あつという間にカレンドラーが行事で埋まってしまうほど忙しい毎日。

今後も趣味を広げていこうと元気いっぱいです。



**三佐 高橋千代子さん (81歳)**

三佐ペタンクチーム。その中の最年長選手として、毎朝、ペタンクの練習に励んでいます。

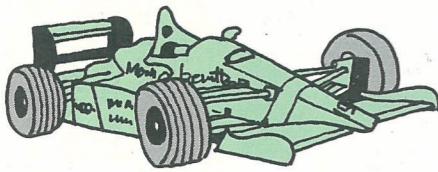
「友だちと顔を会わせて笑顔であいさつするのが何よりの楽しみ」というだけあって、ペタンクのほかにも俳画、陶芸、短歌、俳句、詩道と多くの持ち主。あつという間にカレンドラーが行事で埋まってしまうほど忙しい毎日。

今後も趣味を広げていこうと元気いっぱいです。

# 笑顔でふれあう

# 9月23日(秋分の日)9時50分～15時30分 平和市民公園 多目的広場(雨天中止) 「ひなた」交通安全フェスティバル

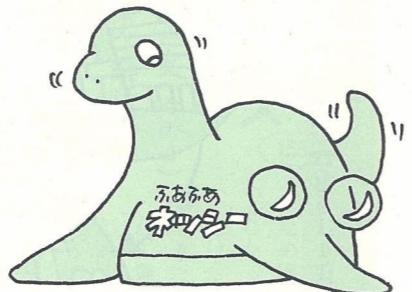
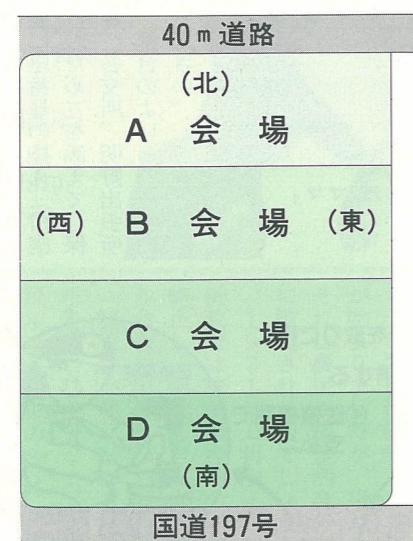
# おおいた交通安全フェア



## A 会 場

食物コーナー、野菜即売コーナー  
綿菓子・ポップコーン・colaなどの無料配布（交通安全クイズ全箇所通過者）

- 県警音楽隊並びにカラーガード隊によるドリル
- 女子高バトンツーリングによる演技
- 吉野臥龍梅太鼓
- 豊後はつね太鼓
- きもとジャギー教室
- ぬいぐるみ人形劇
- ジャズダンス
- ちびっここのど自慢
- もちまき大会
- 抽せん会



問合せ先 おおいた交通安全フェア実行委員会  
(交通安全市民生活課内線④6111内線1314) へ

# 無事故のまち ああいた



## 重 点 目 標 ①

## 若年運転者による無謀運転の追放



### 重 点 目 標 ③

## 違法駐車の締め出し



## 重 点 目 標 ②

## シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底



# 交通安全豆知識

- 「道路の幅員が広く、見通しもいいので、スピードを出しても安全だ」見通しがよさそうにみえても、スピードを出せば視界が狭くなり危険な道路に変わります。
- 横断する歩行者にとつても危険です。死亡重大事故はこうした道路で多く発生しています。
- 「交差点付近での追突事故の多発は、車間距離の不足によるものだ」車間距離の不足もありますが、交差点へ接近する速度が問題です。
- 交差点に接近する時は、十分に減速しましょう。

- ◎ 「深夜・早朝は交通量が少ないからスピードを出しても安全だ」
- 死亡重大事故は、深夜から早朝にかけて最も多く発生しています。
- 「郊外で交通量も少ないからスピードを出しても安全だ」
- 郊外の道路は交通量が少なくても、地元の人たちの生活道路にもなっています。

—9月21日～30日秋の全国交通安全運動—

## ▷ テーマ 犬と人のふれあい

## ▷ 応募資格 市民

▷ 応募作品 白黒かカラープリントで、サービスサイズから四ツ切(別紙に200字程度の写真説明または犬に対する意見などを書いてください)

▷ 応募期限 9月30日

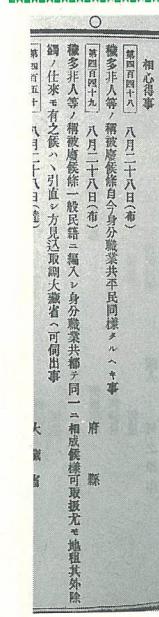
▷賞 金賞…1点、銀賞…2点、銅賞…2点、佳作…5点

※入選者には副賞としてアフリカンサファリの招待券(ペア)とぬいぐるみを、また抽せんで100人にテレホンカードを差し上げます。

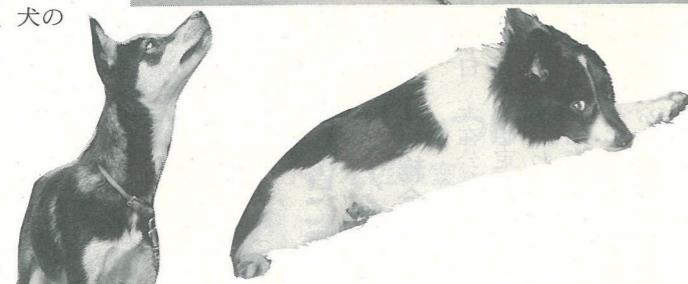
▷応募上の注意 ①1人1点に限ります。②写真の裏に住所、氏名、電話番号、撮影年月日、犬の名前を記入してください。③作品は未発表のものに限り、返却はしません。④金賞作品はネガを提出していただきます。

▷発表 大分生活文化展（ペット相談所）  
で展示

▷応募・問合せ先 保健衛生課(〒870-  
0862-36111内線1559) ▷



▲「解放令」  
(法令全書より)



# 同和教育 シリーズ

明治の新政は、新しい世の中をつくるための制度・税・軍事・教育などを次々と整えました。こうして近代国家として第一歩が始まりましたが、果たして、それは農民や被差別身分の人々に歓迎されたのでしょうか。

1971年（明治4年）8月  
新政府は被差別身分の呼び名を廃止し、職業も自由にするという命令を出しました。いわゆる「解放令」といわれる太政官の布告がこれです。この布告は「国民平等」の世の中にしていくことを告げるはずのものでした。ところが、實際にはこの布告は一片の紙きれにしかすぎませんでした。つまり、身分の解放と職業選択の自由はうたつていてるもの、具体的にそれらをど

のようにして実現していくかという裏付けのないもので、このため実際の効果はありませんでした。被差別身分の人々にとつては、これまで高い技術で保つてきた伝統的な皮革の仕事などが工業化の進むなかで次々に奪われ、納税や兵役など新しい負担も加わって、逆に生活は一層苦しくなったのです。

また、「四民平等」と言つても、新しく作られた戸籍では「華族」「士族」「平民」「新平民」などと記され、新しい差別がつくりあげられていました。新政府への不満から「解放令」のでた翌年、県下の中部一帯を巻き込んだ県中四郡一揆が起これり、大分近在の農民が被差別部落を襲うという差別事件がありました。このことは、根強い差別意識の前に一片の「解放令」がいかに無力であったかを見せつける出来事でした。

眞の人間の解放を求めての闘いは明治に入つても、差別された人々の自らの手で切り拓いていかなければなりませんでした。

市では乳幼児の病気の早期発見と治療を促進するため、10月1日から医療費の助成が3歳未満児までに拡大されます。

▽助成を受けることができる人

- 大分市に住所があること
- いずれかの健康保険に加入していること

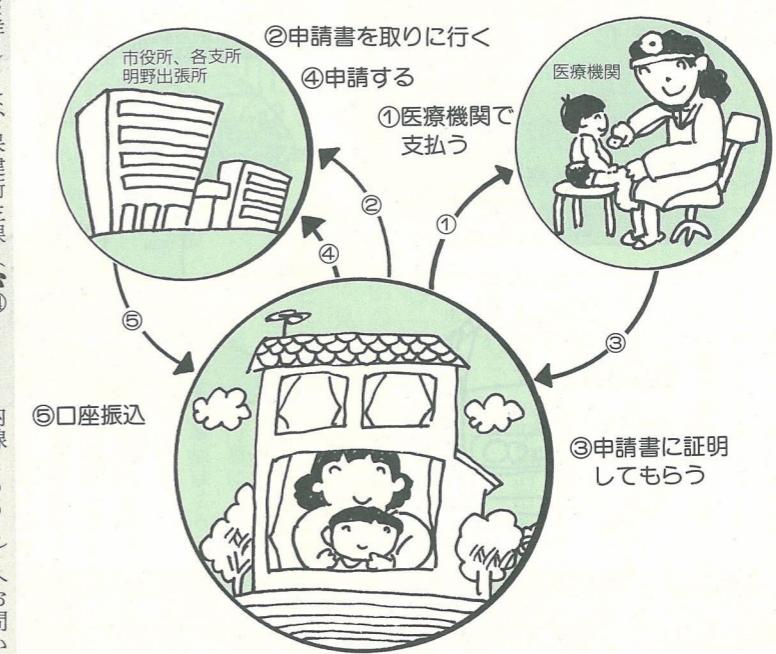
○満3歳未満の乳幼児であること（現在、1歳を超えている場合は、10月1日診療分から適用）

▽助成の範囲

医療機関で支払った保険診療による自己負担額を、3歳の誕生日の前日診療分まで助成します。

▽申請期間

診療を受けてから1年以内（1年を過ぎると請求できませんので注意してください）



**月1日から乳幼児医療費助成が  
3歳未満児までに拡大されます**



## ▶手塩にかけたわが子たち ～畜産共進会～

8月24日、平和市民公園催し広場で、大分市畜産共進会が開かれました。

畜産農家の人たちが日ごろ丹精込めて育てている、肉用種々牛16頭、乳用種々牛41頭が審査会場にズラリ。

また会場には、ジャンケンポン大会、ミルク缶バスケットなどのイベントも催され、子供たちは大喜びでした。



## ◀水辺の生き物みつけたよ ～親と子の水辺教室～

8月31日、小学生とその親約250人が参加して親と子の水辺教室が開かれました。

視聴覚センターで、水辺に住む生き物の生態と環境について学習した後、七瀬川<sup>あらわす</sup>露ぜきへ行き、実際に水辺の生き物を見て触れて、楽しい一日を過ごしました。



国鉄勤務時代の昭和44年、クラブに入ったのがきっかけで能面を作るようになって22年になります。能面は、写真やモデルを見て作りますが、原木から一面を作り上げるのに、女面で約3ヶ月、男面で約4ヶ月かかります。特に、作業の中でも目を入れる時が一番気を使います。今まで約2百面作り上げましたが、親せきや新築祝などに贈ったりして喜ばれています。昨年の4月には平和市民公園能楽堂も出来たので、いつか自分の作った能面が舞台で舞つてもらえるように、これからもよい作品を作りたいと思っています。

能面  
白 慢  
わたしの

津守 木津 一人

## ◀いざれ劣らぬ腕自慢 ～コンパルお楽しみ演芸館～

9月1日、コンパルホール文化ホールで、コンパルお楽しみ演芸館「わたしの自慢大会」が開かれました。

65歳以上で、カラオケ、手品、日舞、ダンスなど自慢の特技のある28組が出場し、日ごろ鍛えた自慢の腕前を披露していました。



## ◀歴史と伝統 伝え続ける 夏絵巻 ～本場鶴崎踊大会～

8月24日、25日の2日間、鶴崎公園グラウンドで、約2,200人の踊り子が参加して、豪華けんらんな夏絵巻「本場鶴崎踊大会」が行われました。

華やかな衣装を身にまとった踊り子たちが、やぐらを中心に七重八重に輪をつくり、優雅な踊りでつめかけた多くの観客を魅了していました。



## ▶万一大災害に備え 万全の体制を

### （地震対策総合防災訓練）

9月5日、大在公共ふ頭で、大地震や風水害による被災を想定して、14年ぶりに大がかりな防災訓練が行われました。自衛隊、海上保安部、県警、消防局など約40団体と市民およそ4千人が参加し、陸と海と空で総合的かつ立体的な訓練を行いました。



## 大好きなフット

桃園小6年 佐内千恵美

小学校3年生の時にフットベースボール部に入部して、ずっと今日までがんばっています。今年はキャプテンになり、みんなに喜ばれる優勝しました。これは、みんなチームとしてのまとまりがあつたからです。キャプテンをさせてもらつて、本当に良い経験をしていました。将来、スポーツの経験を生かして、何事にもくじけず、正しく、明るく人のために役立つ人間になりたいと思います。

夏休みの8月4日に行われた城東地区大会では優勝しました。これは、みんなチームとしてのまとまりがあつたからです。キャプテンをさせてもらつて、本当に良い経験をしていました。今年はキャプテンになり、みんなに喜ばれるようにと気配りしながらがんばっています。一番楽しいと思う時は、試合で良い結果を出した時です。

夏休みの8月4日に行われた城東地区大会では優勝しました。これは、みんなチームとしてのまとまりがあつたからです。キャプテンをさせてもらつて、本当に良い経験をしていました。今年はキャプテンになり、みんなに喜ばれるようにと気配りしながらがんばっています。将来、スポーツの経験を生かして、何事にもくじけず、正しく、明るく人のために役立つ人間になりたいと思います。

よいこの玉手箱









## 市民美術展覧会

- ▷会期 10月31日～11月6日
- ▷種目 絵画(日本画、洋画、版画)、書、写真、彫刻、工芸、デザイン
- ▷出品資格 ○市民または市内に勤務する人で、高校生以上の人。○県美協会員、大宣美会員またはそれ以上と認められる人については特別出品とする。
- 各分野について1人1点とする。
- ▷作品搬入日時 10月26日(土)・27日(日) 9時～16時40分
- ▷会場 大分文化会館第1・第2小ホール
- ▷出品料 無料
- ▷問合せ先 社会教育課 (☎④6111内線2043) へ。  
(社会教育課)

## 健康体操教室

- ▷期間と時間 10月2日～12月4日 13時30分～15時30分 (10回)
- ▷場所 県看護研修センター (寿町2番6号)
- ▷対象者 肩こり腰痛のある人は特におすすめします。
- ▷受講料 無料
- ▷携行品 バスタオル、運動しやすい服装 (ジーンズは不可)
- ▷申込み・問合せ先 県看護協会 (☎③2146) へ。

## 温水プール婦人水泳教室

教室名	定員	曜日	期間	時間
婦人初心者コース	30人	水	10月2日～11月20日	10時30分～12時
	30人	木	10月3日～11月14日	
	30人	金	10月4日～11月15日	

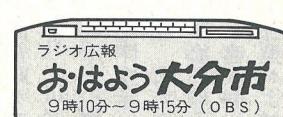
- ▷受講料 1,200円 (スポーツ傷害保険料を含む)
- ▷申込方法 はがきを持参のうえ 9月23日までに直接温水プールへお申し込みください。
- ▷その他 ①月曜日は休館です。②定員を超えた場合は抽せんとします。③事前に健康診断を受け、異常がないかを確認しておいてください。
- ▷問合せ先 温水プール (☎⑤81127) へ。  
(温水プール)

9月21日(土)放映  
シリーズおおいた再発見①  
～賀来～

9月28日(土)放映  
大分市の台所  
～中央卸売市場～



9月16日(月)放送  
高齢者福祉の充実



## 能楽堂の催し (☎⑤5511)

- ▷名称 宝生流九州教授図託会
- ▷日時 9月29日 9時～17時
- ▷内容 素謡・仕舞
- ▷料金 無料

(平和市民公園能楽堂)



## 自然に親しむ集い

- ▷日時 10月7日(月) 9時～17時  
(雨天の場合は中止)
- ▷募集人数 100人(定員を超えた場合は抽せんとします)
- ▷コース 市役所発(9時)～東部地区内の名木～佐野植物小動物公園～九六位山、夜明城、横江山ハイキングコース(栗拾い)～大内バス停～文化会館(17時)
- ▷集合場所 市役所議会棟前
- ▷参加料 600円
- ▷申込方法 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、9月25日(必着)までに、公園緑地課 (〒870 荷揚町2番31号☎④6111内線1832) へお申し込みください。
- ※はがき1枚につき1人の申し込みとします。
- ▷その他 (1)参加料は、当日徴収します。(2)昼食、タオル、水筒は各自ご持参ください。(3)栗拾いやハイキングなどで約5km歩きますので、ズボンや運動靴など歩きやすい服装で参加ください。(公園緑地課)

## 秋の海と山を訪ねる少年の集い

- ▷日時 10月26日(土)～27日(日)
- ▷内容 月夜の野外演奏(木管五重奏)、カヌー活動、月の出、日の出観賞、磯辺の活動
- ▷対象者 小学校6年生
- ▷募集人数 120人(先着順)
- ▷参加料 1,700円(記念写真代を含む)
- ▷申込方法 往復はがきに住所、氏名、保護者氏名、電話番号、学校名を記入のうえ、9月30日までに少年自然の家 (〒875 白杵市下ノ江1110番地の1☎④0972⑥2200) へお申し込みください。(少年自然の家)

## 視聴覚センターの催し

(大石町一丁目3組 ☎④8616)

講座名	日 時	内 容	その 他
お楽しみ映画教室	9月21日(土) 13時30分～15時	ニルスのふしぎな旅 ～太陽と氷の精の戦い (アニメ)～ 赤毛のアン(アニメ) ちどりと子供たち(劇映画)	○参加自由 ○入場無料
放送セミナー「歴史誕生」	9月28日(土) 14時～16時	ジバング国・金闇 (足利義満の宝物)	○参加自由 ○入場無料 ○講師 三重野誠氏 (県教育庁文化課)
サウンドスペシャル	10月5日(土) 6日(日) 14時～ 15時30分	レーザーディスクでおくる ～「あの時の歌」童謡集～ 由紀さおり・安田祥子ほか	○参加自由 ○入場無料

市報が読みやすくなります

「文字を大きくしてほしい」という市民の皆さんのが強い要望におこた  
えし、10月1日号から、市報のサイズをA4版(297mm×210mm)に拡大  
し、文字が大きくなります。